

原発事故被害者 相双の会

連絡先

國分富夫 (会長)

住所

〒976-0052

福島県相馬市黒木字迎畑 91-12

電話 090 (2364) 3613

メール kokubunpitsu@gmail.com

事務局

鈴木宏孝 090-2909-6133 (浪江)

関根憲一 090-4889-3726 (富岡)

板倉好幸 090-9534-5657 (南相馬)

忘れもしない原発事故

原発事故はすべてを奪い、絶望感と無気力感を与えるもの

双葉町 小川貴永

優秀賞採った蜂蜜も農家レストランの夢も

双葉町は、海と山が近く非常に自然環境に恵まれた土地でしたので、大学を出てから東京で働いていた私は、生まれた土地で生産業をやりたいと思い、30歳でUターンしました。それからつくば市の果樹研究所で落葉果樹を研修し、友人から養蜂技術を学び新規収農で双葉町に1.6ヘクタールの荒れた農地を買い、開墾しながら養蜂場と畑にし、生産業を始めました。最初に採れた蜂蜜を福島県養蜂教会の品評会に出展したら優秀賞を頂き、感激しました。

それから2年間かけて開墾した農地に蜜源となるニセアカシア・ホワイトクローバー・ヘアリーベッチを植え付け、蜂蜜と加工するため果肉が赤い梅 露茜 渋皮が綺麗に剥ける栗(ぼろたん)などの果樹と生姜・ウコン・ニンニクなどの野菜を畑で作っていました。

蜂蜜は双葉町の生産者と加工業者が集まって作った団体 ユニット 21 で日本橋高島屋に1週間、物産展に3年間参加して関東方面の顧客も増え双葉郡へのテスト旅行なども行いました。六本木アークヒルズでのマルシェにも毎月参加していました。

その中で1次産業の6次化を進め友人達と双葉物流組合を作って双葉海水浴場の近くに農家

レストランを建設している中、東日本大震災が起きました。

津波と原子炉本体の気体放出(ベント)に追われ

農家レストランは津波に流され浪江町の妻の実家、祖母が入っていた「オンフル双葉」に行き妻の両親、妻、長男、次男、祖母の無事を確認し、家に帰りましたが、道路が崩れ落ちて酷い状態で、自動車も道路の亀裂でパンクしながらの帰宅でした。

散らかった家の中の状態を、確認していると警察官が来てまた津波が来る危険性があるので双葉北小学校に避難せよとの指示があり、15時頃、避難しました。そこで父と会うことができ一安心、双葉北小学校には津波で流され怪我をしている人、溺れて意識不明になった人などが運ばれており、ストーブが一つしかない寒い中で救急車を待っていましたが、道路が壊れて入って来られないために救急車まで軽自動車で行っている状態でした。避難を手伝っていた友人たちと三人で私は双葉町役場に向かい避難状況を確認して各避難所に水を配る手伝いをし、双葉町役場に待機していました。明け方になり、強制避難になった。父は近所の方と川俣町へ避難していると聞き一

安心、朝方、6時頃にタイベックスーツ（放射性物質が直接皮膚に付着するのを防ぐことができる簡易防護服）と放射性粉塵用防護マスクが配られ、装着するように指示が出ました。その後、東京電力社員の携帯に電話が入り、ベントする（原子炉圧力容器や原子炉格納容器内の圧力が異常に上昇した場合に、内部の気体を排出し、圧力を降下させる）ので「10キロ以上離れて下さい」と言われて、その言葉を役場職員が放送しました。

川俣→埼玉→
猪苗代→郡山→
勿来と転々

その後、私は友人たち5名で仙台方面に国道6号線を向かったのですが、南相馬市のガソリンスタンドでラジオから双葉町は川俣町に避難していると聞こえたので、川俣町に向かいました。大渋滞でしたが、ようやく2時間以上かかり、川俣町立飯坂小学校にたどりつき避難しました。

外は雪が降り、広い体育館にストーブが2個だけで寒い中、体育館の床に横になりました。1週間後近所の方が父を避難していた川俣町飯坂小学校へ連れてきてくれたので、埼玉県さいたま市の「さいたまスーパーアリーナ」に避難することになりました。

その後、埼玉県加須市の「騎西(きさい)高校」に避難したが、父の咳が止まらなくなり、加須市の中村で診察を受けたら「埃で感染症を起こしている」と診断されたため5月の連休のころ福島県に戻り猪苗代町の「リステル猪苗代」へ移動し、その後郡山市「郡山富田仮設住宅」へ移動しました。富田仮設住宅は富岡町 双葉町 川俣町 で200世帯ほどありましたが双葉町は50世帯で父が自治会長をやることになりました。その後「勿来酒井復興住宅」へと避難し現在に至っています。

避難者仮設住宅ではストレスと連日のトラブル

郡山富田仮設住宅では自治会長をしていましたが、50の避難世帯の中で、避難者が不安でストレスが溜まり毎日と言っていい程トラブルがありました。孤独死に立ち合ったりもした。

父は震災前小学校の校長、双葉町の教育長を経

2024年7月3日撮影



験後、不登校になった子供たちを教育するために立ち上げた単位制高校小川高等学院の再開や津波で亡くなった生徒、矢吹町の老人ホームに入った母親などの心配もありましたので、父も段々物忘れが多くなり若年性の痴呆症になりヘルパーを頼むようになり、私が夜を介護する

ようになり自治会長を私がすることになりました。

生きがいの教育の仕事を使い、失意の中で亡くなった父

その後、勿来町の復興住宅に父と入居しましたが徐々に父の痴呆症が進み老人ホームに入居しましたが体調を崩し入院し多臓器不全で亡くなりました。祖母は、浪江町の老人ホームから矢吹町の老人ホームに避難移動しましたが体調を崩し亡くなりました。

父は単位制高等学校を双葉町に作り不登校や高校を退学した子供達を大学などに進学させる仕事を生き甲斐としてましたが、東京電力による事故により全てを失い失意の中、若年性アルツハイマーになり体調を崩し亡くなり、義母は腫瘍と心臓が悪くなり亡くなりました。これもわずか数年の中で起こった事です。

原子力発電所の事故は人間の生活や健康全てを奪い絶望や無気力感を与えるととても恐ろしいものです。

地球温暖化の原因は誰の責任

★ 21 日午後 5 時の旭川の気温は 33℃です。とんでもなく暑いです。東京では、100 年前と比べて、7 月の日々の最高気温は、10℃近く高くなっています。つまり、今の旭川は、100 年前の東京に近い暑さになっています。化石燃料使用を速やかにゼロにすることが必要です。

(1) 舞田敏彦 on X: "<https://t.co/h0GG2lpZ4m> 7 月も、100 年間でこんなに暑くなっている。
<https://t.co/UfQ0x8FCgb>" / X

北海道の夏は過ごしやすいたと言われていましたが、なんと記録が 35 度を超す状況です。静岡市では 40.8 度（1924 年 7 月 25 日）を記録した。全国各地 35 度は当たり前になってきています。

エネルギーの需要は絶えず高まっていますが、このエネルギー需要の多くは、現在も化石燃料に大きく依存しており、その結果として温室効果ガスの排出量が増加しています。

火力発電が大きな原因と言われ、自然環境まで壊します。

森林は「地球の肺」とも呼ばれ、大気中の CO2 を吸収して酸素を放出する重要な役割を担っていることが解っているのに、後を振り返りもせず儲かればいいと言う企業が原因です。日本だけの問題ではありませんが、世界中が本気になって取り組む必要があります。

だからと言って原子力発電へ、となれば大

	1923年	2023年
7月1日	22.1	27.8
7月2日	23.2	31.7
7月3日	23.8	32.2
7月4日	27.9	30.6
7月5日	23.4	28.7
7月6日	24.9	33.4
7月7日	21.6	34.2
7月8日	23.6	30.9
7月9日	26.8	33.0
7月10日	27.1	36.5
7月11日	27.4	34.3
7月12日	29.7	37.5
7月13日	24.2	30.3
7月14日	26.4	30.5
7月15日	22.1	32.9
7月16日	23.7	35.3
7月17日	27.7	36.2
7月18日	28.7	37.5
7月19日	31.2	33.9
7月20日	31.2	32.6
7月21日	27.9	31.6
7月22日	32.0	33.4
7月23日	30.5	33.4
7月24日	30.4	35.7
7月25日	34.6	36.6
7月26日	30.0	37.7
7月27日	31.1	36.9
7月28日	32.0	36.2
7月29日	32.8	35.7
7月30日	33.4	36.6
7月31日	31.7	36.1

変な間違いです。

福島原発事故でわかりのように、一旦事故を起こせば再生できないほど自然を壊し、全ての生物に影響を与えます。例えば事故が起きなかったとしても原発墓場となり何百年、何千年と管理していかなければなりません。目に見えない放射能管理も続けなければなりません。

エネルギー効率の改善、再生可能エネルギーへの移行、持続可能な交通手段の促進は、地球温暖化対策の鍵となります。これらの取り組みは、温室効果ガスの排出を減らすだけでなく、エネルギーセキュリティの強化や経済的な利益をも

たらす可能性が充分あると言われています。

ドイツの脱原発

発電目的での原子力の使用について数十年に亘りドイツにおいて熱い議論が行われています。1986年にウクライナのチェルノブイリで事故が発生し、ドイツの一部も汚染されたことから、原発事故で人間と環境が影響を

受けるという懸念が裏付けられました。2000年に、ドイツ政府は発電目的での原子力の使用を完全に廃止し、再生可能資源に基づいたエネルギー供給に切り替えることを決定しました。既設発電所の使用期限の設定について原子力発電所事業者との合意に達し、新発電所の建設を禁止しました。

この規定は2010年に改正されました。原子力が再生可能エネルギーによって完全に代替できるまでのギャップを埋めるため、既設発電所が使用できる期間を延長しました。福島県の原子力発電所事故が2011年3月に発生して以来、ドイツ政府はこの決定を覆しました。

発電目的での原子力の使用を可及的に早く終了することを多数決で決定しました。この法律の発効をもち即幾つもの発電所が発電停止に至りました。残りの発電所の稼働2022年末までに順を追って廃止をきめましたが、結果は一基残り翌年の2023年3月には停止しました。

ドイツといえば世界でも有名な自動車産業です。

ベンツ、BMW、アウディ、フォルクスワーゲン、ポルシェなど高級車が挙げられます。車産業においても電気自動車（EV）開発が強化されるであろうと思います。日本はまだ

まだハイブリット車（HV）にこだわっているのは、化石燃料発電、原子力発電に固執している現われでしょう。

日本は再生可能エネルギーには最適

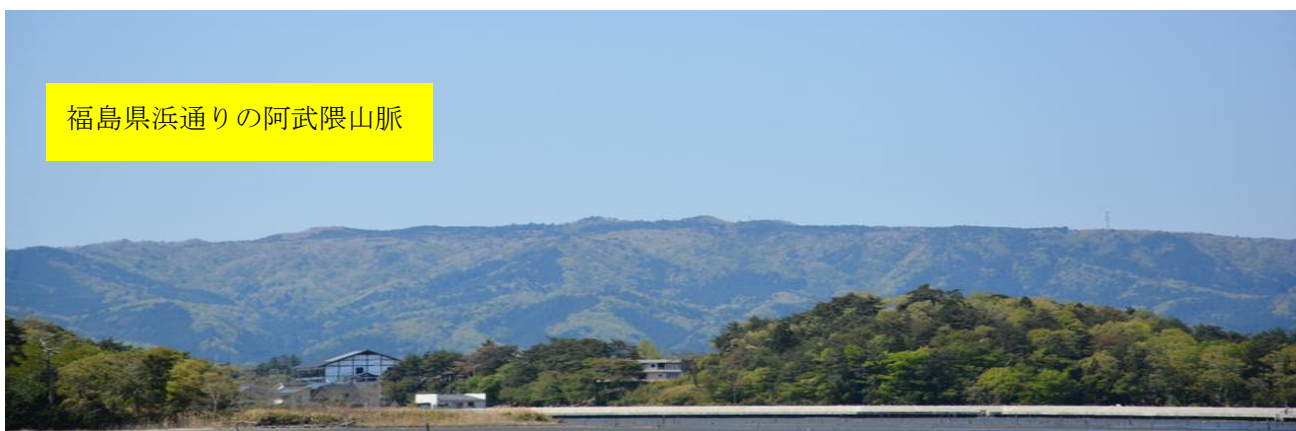
ドイツでは再生可能エネルギーの開発、エネルギー効率への投資により、将来の成長分野において新職業や新雇用が創出されます。商業、工業と建物再開発において講じられた諸エネルギー効率措置だけでも、新雇用に40万件超創出し、また再生可能エネルギーへの投資では、10年間に同分野における従業員人数が2倍以上に増加したと言われてい

ます。我が日本は幸いにして、国土の70%が森林の山ですから水力発電に最適であり、綺麗な水で、飲料水になります。また自然を壊さない程度の風力発電に適しております。それに日本列島は海に囲まれていますから海洋風力発電開発に最適であると思います。

化石燃料発電、原子力発電に頼らなくても充分エネルギーを確保できると素人の私たちでも考えられることです。

安全・安心を次世代に引き継ぐのが現社会に生きる私たちの責任であることからすれば、再生エネルギーが益々重要になってくるでしょう。（國分富夫）

福島県浜通りの阿武隈山脈



是非ご投稿をお寄せください

◇電話 090 (2364) 3613

◇メール（國分）

kokubunpisu@gmail.com

